

「全国子どもアドボカシー協議会」が設立される

設立記念セミナーは 5 月 5 日(木) 早稲田大で

大分大学の 相澤 仁 教授よりのメッセージ (協議会理事長)

「子どもの権利条約をきほんとし、子ども・若者とのパートナーシップのもと、各地で活動する団体・個人との交流・連携を通して、子どもの声を大切にし、すべての子どもの権利を尊重する社会の実現を目指して活動を展開する予定です。」

その設立記念としてのセミナーは 5 月 5 日に開催されます。30 歳未満の人は無料でオンラインも可能。社会的養護経験者にとっても学びになると思います。ぜひ参加してください。

レター後方にセミナーの広報がありますので、申し込みはそちらからお願いします

西日本新聞

2022. 3. 28 (月) (25)

子どもの本音拾い上げ

虐待などに苦しむ子どもたちの
意見を第三者が代弁し、養育環境
の改善につなげる「子どもアドボ
カシー」を普及させようと、全国
子どもアドボカシー協議会が27
日、福岡市の団体を事務局として
発足した。虐待する親を怒れたり、
養護施設職員や里親に気兼ねした
りして、本音を語れない子どもたち
の声を拾い上げるため、同様の体験
をした人たちが理事に名を連ね
た。若い体験者でつくる「子ども
若者委員会」を設置し、より幅広い
意見を集め、国に政策提言する。
協議会は福岡市のNPO法人
「子どもアドボカシーセンター福

全国アドボカシー協議会発足

虐待など体験の若者も参加

岡 内に事務局を置き、東京や鳥
取、大分など各地で子どもの権利
擁護などに携わる20団体・個人が
加盟。理事長には相沢仁大分大教
授が就いた。
理事13人中4人は社会的養護を
受けた経験がある。里親家庭で10
年、児童養護施設で4年過ごした
女性理事は設立総会で「自分の意
見を聞いてもらえないことが多く
あり、子どもアドボカシーの存在
に感銘を受けた。子どもと大人の
駆け橋になりたい」と語った。別
の理事も「施設にいた頃は自分の
意見を大人に言う発想がなかった。
海外のように、生活を良くす
るために大人にもっと考えを伝え
る機会が必要だ」と述べた。
協議会は会員が里親家庭や養護
施設を訪問したり、子ども・若者
委員会を年4回開催して意見交
換したりして現場の声を聞く。子
どもの声を代弁する意見表明支援
員(アドボケイト)養成などにも
取り組む。7月にNPO法人化す
る見込み。
5月5日には早稲田大(東京都)
で設立記念シンポジウムを開く。
申し込みは[https://adv2022.
peattix.com/view](https://adv2022.peattix.com/view)(小川俊一)

虐待防止へ子どもの気持ち代弁

虐待などで苦しむ子どもの声を受け止めて代弁する「子どもアドボカシー」の普及を目指す初の全国組織「全国子どもアドボカシー協議会」が27日、発足した。福岡市内に事務局を置き、子どもの意見表明をサポートする支援員(アドボケイト)の育成などに取り組む。

「子どもアドボカシー」は、弱い立場に置かれている子どもたちの訴えに耳を傾けて権利を守る活動。英国などで取り組みが進んでおり、アドボケイトは「代弁者」「擁護者」と訳される。本人から現在の生活状況や将来の希望などを聞き取り、児童相談所が児童養護施設や里親に委託する際や、委託後の暮らしや進路選択の際などに本人の意思や希望が反映されるように第三者の立場で

全国組織 福岡に発足

支援する。2018年に東京都目黒区、19年に千葉県野田市でいずれも女兒が虐待死した事件は「家に帰りたくない」という本人の訴えを児相が尊重しなかったことが問題に。国はアドボケイト配置を努力義務とする児童福祉法改正を検討している。

27日にオンラインであった設立総会には千葉、香川、福岡、大分の計5団体と個人19人が参加し、子どもアドボカシーの普及に向けて連携することを確認。福岡市のNPO法人「子どもアドボカシーセンター福岡」内に事務局を置き、初年度はアドボケイトの養成講座を福岡、東京の2会場で開催、統一の認定基準も策定する。理事長に就任した大分大の相沢仁教授は「全国各地でアドボカシーの活動を広げたい」と話した。【城島勇人】

子供の意見を守る
福岡に全国組織

子どもが意見や本音を表明することを手助けする「全国子どもアドボカシー協議会」が27日、福岡市で発足した。今夏のNPO法人化を目指す。

「子どもアドボカシー」は、軽視されやすい子どもの意見や気持ちを第三者が聞き、表明を手助けしたり代弁したりする取り組み。国は子どもを虐待から守るため、手助け役の「アドボケイト(擁護者)」ら専門職を都道府県に配置する方針。協議会には福岡や千葉、香川県で活動する5団体と専門家が24人が参加。アドボケイトを育成し、情報交換を進める。理事長に就任した相沢仁・大分大教授(子ども家庭福祉)は「全国の子どもの高いアドボカシーを受けられるようにしたい」と話した。



全国子どもアドボカシー協議会 設立記念 全国セミナー

「子どもの声を大切にし、
ともに生き育ちあう社会」を目指して

2022 年 5 月 5 日（木）13：00～17：00

早稲田大学リサーチイノベーションセンター（121号館）
& WEB開催

子どもアドボカシー活動に興味・関心のある方は
どなたでもご参加してください！待っています！

詳しくは裏面をご覧ください



主催：全国子どもアドボカシー協議会
共催：早稲田大学社会的養育研究所
助成：公益財団法人SBI子ども希望財団

○プログラム

12:30～	受付
13:00～	主催者挨拶 相澤 仁（大分大学権利擁護教育研究センター長）
13:20～	来賓挨拶 中野 孝浩（厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課長）
13:30～	基調講演「子どもの声を大切に傾聴とは」 村瀬 嘉代子（一般財団法人日本心理研修センター 理事長）
14:30～	休憩
14:45～	子ども・若者からのメッセージ 発表者： 子ども・若者 3名 コーディネーター： 川瀬 信一（子どもの声からはじめよう代表理事）
15:20 ～17:00	シンポジウム「子どもの声を大切にしたいアドボカシーのしくみを構築するためには ～子どもの権利を中心に据えた徹底討論～」 シンポジスト： 中村 みどり（Children's Views & Voices副代表） 安孫子健輔（子どもアドボカシーセンター福岡理事長） 坪井節子（カリヨン子どもセンター理事長） 助言者： 奥山真紀子（子どもの虐待防止センター理事） 山縣 文治（関西大学人間健康学部教授） コーディネーター： 相澤 仁（大分大学権利擁護教育研究センター長）

○参加費：会員2,000円 一般3,000円 子ども・若者（30歳未満）無料

◎参加希望者の方々へ

下記のイベントサイトにアクセスして記入して下さい。
どうぞよろしくお願いいたします。

【イベントサイトURL】

<https://adv2022.peatix.com/>



お問い合わせ：子どもアドボカシーセンター福岡内 担当：安孫子
〒810-0023福岡市中央区警固2-17-16秀和警固レジデンス804
メール：office@child-advocacy.org